



POWER OF SWEDEN HOUSE STANDARD

スウェーデンハウス
スタンダード

条件 **2.** 受け継ぎ、受け渡していけること

進化する伝統。

時代や社会が変わっても
スウェーデンハウスが考える
住宅の「スタンダード」は変わりません。
家で過ごす時間が増え
住環境が見直される今
快適のあるべき姿と
それを可能にする条件を考えます。

食べるものも、着るものも、どこかで「やっぱり国産でしよう」と思っている。日本で作られたものは日本人の好みやサイズにフィットするし、日本ならではの細やかな気配りが施されている。そしてなにより安心・安全だ。何か問題が起きた時にもすぐに対応してもらえる——そんな私が、スウェーデンハウスに住んでいる。スウェーデンハウスは輸入住宅かもしれない。でも、実は国産なのかもしれない。15年住んでみて、そんなふう感じている。何をもちて輸入住宅と呼ぶのか、法的定義はよくわからないし、この際どうでもいいのだが、私にとってスウェーデンハウスは「スウェーデンの伝統を受け継いだ、日本の家」だ。

スウェーデンハウスという会社は、今年で創立37年。会社としての歴史はそんなに長くない。けれど、スウェーデン住宅の歴史は長い。何世紀にもわたって北欧の過酷な自然環境に耐えながら、進化を続けてきた家だ。しかも、日本よりもずっと早く、環境問題や人権問題、ワークライフバランス等に目を向けてきた国が住み繋いで

輸入住宅？ スウェーデンハウスは

The
SWEDEN
HOUSE

THE PERFORMANCE FOR OUR PLANET



CONTENTS

2

[Special 1]

POWER OF
SWEDENHOUSE
STANDARD

スウェーデンハウス・スタンダード

10

OUR FAVORITE CRAFTS

スウェーデンハウス・スタンダード

銘品館

12

[Special 2]

愛が育つ場所
ねむの木村を訪ねて

18

[Technology]

スウェディちゃんの
なぜ？なに？どうして？
教えてムース先生！

22

[Culture]

私の小宇宙Sweden

23

[Essay]

ウフフの我が家

24

[Performance]

たがわない約束

25

[Life Style]

mjuk@web information
Enjoy! mjuk×200%

26

[SWEDEN HOUSE CIRCLE]

Good Neighbors



POWER
OF
SWEDEN
HOUSE
STANDARD

スウェーデンハウス
スタンダード



きたその住宅は、人にやさしく、環境にやさしく、平等で、平和だ。
 今から45年前の1976年(昭和51年)、北欧視察に出かけたス
 ウェーデンハウスの創始者たちは、スウェーデンの住宅を見て感動
 し、「住宅とはこうあるべきだ」と確信したそうだ。当時聖路加看
 護大学学長であった日野原重明教授も同行されたと聞いている。
 経済の発展とともに使い捨ての時代、インスタントの時代に入っ
 ていた日本の社会状況に、疑問をもっていたのだろう。社会の在
 り様を映し出す、豊かな住宅の姿を目の当たりにし、住宅を含め
 た「日本の行くべき道を見たのだと思う。「舶来」だから売れるだ
 ろうとか、そのうちこんなスタイルが流行るだろうとか、そんな
 低レベルな話ではない。とてもピュアな思考で、日本にもこんな
 ふうには、住み続ける住宅がスタンダードになる日がくる。そんな
 社会であるべきだと考え、スウェーデン住宅の輸入に踏み切った。

伝統を受け継ぐというのは難しい。何から何までそのまま受け継ごうとしてもうまくいかない。日本の伝統工芸も、歌舞伎などの芸能も、着物も、伝統の味も、受け取る人の「今」を無視しては立ち行かない。かといって、流行に媚び、連綿と大事にされてきた部分まで変えてしまうと、それもまた違う話になってくる。変えてはいけない部分と、変えなければいけない部分。それを見極める力が必要だ。新しいものを取り入れながらスペックアップし、より良く変化させてこそ、伝統の継承は続いていく。

変えてはいけないこと。
変えるべきこと。



スウェーデンハウスの場合も同じだ。単なる輸入住宅であれば、運んできてそのまま売ればいい。売れにくそうなら、スペックダウンして価格を下げるなりすればいい。けれどそんなことは絶対しない。受け継ぐべきは伝統であり、豊かな暮らしなのだから。

使命感と責任感でいっばいの創始者たちは、視察後長い年月をかけて、慎重すぎるほどの実験と検証を繰り返した。日本で暮らすにはどうなのか——北海道に実験棟を建て、日本特有の湿気や地震の問題、寒さ、暑さ、台風……さまざまな検証を繰り返し、日本向けにスペックアップを重ねた。そして出来上がった「スウェーデンハウス」には「国産」の安心・安全が備わっていた。



POWER
OF
SWEDEN
HOUSE
STANDARD

スウェーデンハウス
スタンダード



スウェーデンの 伝統と誇りに住まう。

変えてはいけない部分——その一つに北欧が育てた木々があ
る。厳しい気候の下でじっくりと育った木々は、木目がきれ
いに詰まり品質が安定している。そして伝統のクラフトマンシッ
プ。北欧の職人たちの木工技術と、ものづくりへのこだわりと
誇りがあってこそ、スウェーデン住宅は存在する。

スウェーデン中部のダーラナ地方、インションという小さな町
に、スウェーデンハウスの現地工場はある。高品質の木材はそこ
で加工され、断熱材の充填なども行われる。結果、輸入されたの
ち、建築現場によって仕上がりに違いが出ることはない。

工場で働く職人たちは、自国の伝統住宅が日本でも愛されて
いることに、大きな誇りをもっているそうだ。細やかなこだわ



POWER
OF
SWEDEN
HOUSE
STANDARD

スウェーデンハウス
スタンダード

りをもつ日本人に届けるのだからと、仕上がりに気を使い、自
信のもてるものだけを送り出している。インションの町の人た
ちは皆、この工場を大切に思い、良い関係を築いている…そん
な話も、この家に住む人間として非常に嬉しい。お互いにリス
ペクトしながら良き伝統を共有できるなんて、とても幸福なこ
とだと思う。

新しい伝統へ。

かくして、スウェーデンの伝統は、日本へと受け継がれた。

創業当時、オーバースペックであると揶揄されたスウェーデン
ハウスの高気密・高断熱は、環境問題に目の向き始めた今、日
本でもすっかり当たり前になり、家族の時間をもつという風
潮は、ファミリールームの必要性を語るようになってきた。超高
齢社会に対応するモジュールも、SDGsに対応する耐久性も、
「こうなるべきだ」と創業者たちが信じたとおりに、住まいに求
められる条件になりつつある。

そして、なんとまあ、7年連続顧客満足度NO.1※なのだそ
うだ。華々しいCMなどしなくても、家そのものの性能が、全
てを饒舌に語っているということか。

知ってしまうと手放せない。スウェーデンハウスの快適は、こ
れからも進化を続けながら、私たちの新しい伝統になっていく。

文：上西左知子

コピーライター/スウェーデンハウスオーナー 2006年入居

※ 2015年～2021年 オリコン顧客満足度® 調査 ハウスメーカー 注文住宅 第1位

【掲載モデルハウス】
幕張モデルハウス※

【モデルハウスインフォメーション】

スウェーデンハウスのモデルハウスには、一つ一つの家にも、安心して暮らせる心地よさがあります。また築年数を重ねて味わいを深めてゆく、それぞれの美しさがあります。ぜひ実際に見て、感じてください。

<https://www.swedenhouse.co.jp/modelhouse/>

※幕張モデルハウスは2021年10月1日より幕張西モデルハウスに名称変更となり、新たに2021年10月9日より同じ会場内に幕張東モデルハウスもオープンします。